

有職抄

上

73
6255
1





有職抄卷之第二



去五味均平蔵



禁中殿門之篇

大内裏

紫宸殿

南殿トイフ七間四面朝賀即位第會旬朝且以下ノ

諸ノ事ナラヒニ季御讀延仁王會十卜行ハル也

仁壽殿

七間四面南殿比ニ界内宴相様蹴鞠觀音供ナリ此

ニテアリ。永香帝寧以下ノ諸殿七政ノ時ハ皆御裝束



ツカサリテソレノ事ヲ行フナリ

養香殿

七間四面仁壽殿ノ北ニアリ

常寧殿

右町トイフ七間四面養香殿ノ北ニアリ

貞觀殿

御車殿トイフ七間四面常寧殿ノ北ニアリ

己上五殿ハ南ヨリ起テ北ニ行皆外西ニ是ヲ

亦建ル

春興殿

七間二面日華門ノ南ニアリ

宜陽殿

七間二面日華門ノ北ニアリ着陣諸年座ナト北所ニテ行フナリ

綾綺殿

七間四面宜陽殿ノ北ニアリ

温明殿

別殿トイフ七間四面綾綺殿ノ東ニアリ内侍所

此所ニシテ二十リ

麗景殿

七間 宣耀殿ノ南ニアリ

宣耀殿

七間 麗景殿ノ北ニアリ

己上六殿ハ東南ヨリ起テ北ニ行皆子午ニ是ヲ建ルナリ

安福殿

七間 二面月華門ノ南ニアリ

挾書殿

清凉殿

七間 四面中殿トイフ挾書殿ノ北ニアリ西方拜

小朝拜叙位叙目宮養三席御遊以下ノ公事ア

ニ夕此殿ニテ行ハル、十リ

後凉殿

七間 別殿トイフ十リ。清凉殿ノ西ニアリ又コウラウ

弘徽殿

七間 清凉殿ノ良ニアリ蹴鞠ノ例アリ

登華殿

七間弘徽殿ノ北ニアリ

己上六殿ハ西南ヨリ起テ北ニ行皆子牛夏

ヲ建テ十リ常寧殿貞觀殿後涼殿弘徽殿十ト

東宮后宮マシマスナリ時ニヨリテカハルヘシ

五舎

昭陽舎

五間四面梨壺トイフナリ麗景殿ノ東ニアタリ

テ北南ニ相ナラヒニ字アリ

沂景殿

五間四面桐壺トイフナリ昭陽舎ノ北ニアタリ

テ北南ニ相ナラヒニ字アリ

己上東ノ舎南ヨリ起テ北ニ行各ニ字ツアリ

是ヲ諸舎トイフナリ

飛香舎

五間四面藤壺トイフナリ弘徽殿ノ西ニアリ藤

花鼻此所ノ事ニ

凝華舎

五間四面毒蓋トイフナリ飛香舎ノ北ニアリ

襲芳舎

五間 四面雷鳴ノ葦トイフナリ疑華舎ノ北ニアリ
已上西ノ舎南ヨリ起テ北ニ行各一字ツナリ飛
杏凝華ノ西舎弘仁九年ノ高文ニ見ヘス後代ニ建
秋具年月古来イマタ詳ナラス此五舎ノ内ヲ
模範ノ直廬ニ給ル撰政ノ時ハ叙位除目以
下ノ公事直廬ニテ行ヲ事ナリ又后宮モ飛
香舎十トニスミ給フナリ

内侍所

温明殿ニアリ主殿掃部女官是ニ候ス

進物所

月華門ノ外ノ南ノ掖ニアリ節舎等ノ御膳ヲ備進
スル所也

御厨子所

後凉殿ノ西ノ庇ニアリ内膳内蔵造酒大膳ヲヨヒ
諸ノ御厨衛府御贄ヲ以テ朝餉ナラヒニ朝夕ノ

御膳ニ供ス

作物所

進物取ノ西アリ

内御書取

兼香殿ノ東ノ片庇ニアリ延喜御宇ヨリ初テ別

當用圖衆十トアリ

校書所

校書殿ノ坤ニアリ

藏人取

校書殿ニアリ尤大臣ヲ別當ニ補ス頭藏人衆

雜色出納コ舍人アリ

龍口

御所ノ近邊ニアリ清凉殿ノ良ニアタル寛平ノ

御時衆ヲ置ル十人此人時ニヨリテ其數サタ

ニラサレルナリ

藥殿

安福殿ノ内ニアリ侍醫藥生等是ニ依ス

納殿

宜陽殿ニアリ累代ノ御物コレニ納ム延喜ノ御記

ニ七書法二百卷十ラヒニ樂器十ト納ラル由見タリ

御掃司殿

貞觀殿ノ内ニアリ止藪ノ女房ヲ以テ別當トス女藏人

一大臣宿所

宜陽殿ノ東廂アリ大臣大納言十ト宿取廬殿ノ

曹司十リ

左大将宿所

宜陽門ノ内ノ廊ノ南ニアリ

右大将宿所

陰明門ノ内ノ東ノ廊ニアリ

貞婦左右中將宿所

玄輝門ノ内ノ東西ニアリ

左右將監宿所

同宿所良ニ

兵衛督宿所

本陣ニアリ

同佐宿所

玄輝門ノ内ノ左右ニアリ

同宿所

宿所、舎北、端アリニ人アル時一人ハ作物所北
アリ、尤兵衛ノ陣北ヲ以テ宿所トス、五位藏人
同舎ノ南西六位西面ニアリ

内堅内、俵所

春興殿ノ東ニアリ

修理内、俵所

西南ノ外ノ廊ノ隅ニアリ

守油、女官

貞觀殿ノ東ノ廂ニアリ

主殿掃部内、俵所

西南ノ廊ノ内ニアリ

造酒、主水

安福殿ノ西ノ廂ニアリ

雷鳴陣

大声三下二及トキ仰ナシト个へ巨大将以下弓箭ヲ

帯シテ御前參候ス兵衛ノ陣ハ紫宸殿ノ前内舎

人ハ清涼殿ノ廂ニタツ行成ノ記ニ云后宮別殿ノ時ハ

近衛ノ陣ヲ分テテ是ヲツカハスト云々

近衛ノ陣
尤近ハ南殿ノ東日華門ノ内ニアリ右近ハ月華門ノ内ニアリ

内記所

尤兵衛ノ陣ノ内南ノカタニアリ

御輿宿

宣陽門ノ内南ノカタニアリ

内諸門

時華門

春興宜陽西殿間アリ南殿前大庭東向門ナリ
尤近衛陣ト号ス

月華門

安福校書兩殿間アリ同庭西向門ナリ尤近衛陣ト号ス

尤掖門

春興殿南アリ壁垣門ナリ東西

右掖門

安福殿南アリ壁垣門ナリ西面

内衛門

陣座ノ上ニアリ東西

茶礼門

内衛門北ニアリ東面此門弘仁、定文ニ見ヘス

彰明門

陣座南面

宣仁門

宜陽殿ニアリ西面宣仁鳥羽院御尋ヨリテ額ヲ放

サルト云々

教政門

宜陽殿ニアリ東面

明義門

南殿ノ西ニアリ西面

仙華門

南殿乾明義門北ニアリ

神仙門

殿上ノ南右青瑯門ノ内ニアリ西面

青瑯門

東ノ方ニアリ西面

右青瑯門

西方入り東西

化徳門

綾綺殿北アリ又魚名門トイフ

己上内閣門迄衛是諸將曹一人迄衛八人引テ

内用ヲツトム五人内閣門ヲ用三人掖門ヲヒラク凡諸

門トハ内中外三重門トイフナリ内中外門内閣門トイフ外

十二門宮門トイフ内門ハ左右迄衛是守り中ノ門ハ

右兵衛是守外官門ハ左衛門ノミモ所ナリ

兼明門西ノ門トイフ長春門ハ内ノ門トイフ

五間戸三間は宮南面内門トイフ建礼門内ナリ

長樂門

左廂門トイフ兼明門東アリ

永安門

右廂門トイフ兼明門西アリ射礼例アリ

己上三ノ門南方ノ門ナリ

法蓮門

三間は宮北面侍伏内門トイフ御平内ナリ二宮

大塚此門東面ノ節ニテ行フナリ一説枇杷陣此門ニアリ
寛元二年成紀ハ元兵衛陣ノ由見エタリ

安嘉門

東廂門トイフ玄魁門ノ東ノ方ニアリ

徽安門

西廂門トイフ玄魁門ノ西ニアリ

已上三ノ門ハ北方ノ門ナリ

宣陽門

三間是ラ宮東面ノ内門トイフ建春門ノ内ナリ元兵衛ノ

陣是也

嘉陽門

元廂門トイフ宣陽門ノ北ニアリ

延政門

右廂門トイフ宣陽門ノ南ニアリ

已上三ノ門ハ東方ノ門ナリ

陰明門

三間是ラ宮西面ノ内門トイフ宣陽門ノ内ナリ右兵衛陣是ナリ

武德門

左ノ箱門トイフ陰明門ノ南ニアリ

遊義門

右ノ箱門トイフ陰明門ノ北ニアリ

己上三ノ門ハ西方ノ門ナリ

右ノ十二門ハ内裏ノ四方ノ内門ナリ是ニ周門

トイヒテ兵衛ノ衛門ナリ右ニシルス取ハ皆此十二門ノ

内ノ殿舎以下ナリ此十二門ノ外ヲ中ノ重トイフ

中重ノ殿舎等ハ九ニシルシ侍ルナリ

中重殿坊等

神嘉殿

中院正殿トイフ天子社稷ノ神ヲ祭リ給フ所ナリ中和院ハ

内裏ノ西ニアリ

武徳殿

是ヲ塲殿トイフ射礼競馬ナト此所ニテ御覧アル也

柏梁殿

是ヲ朱雀院ノ正殿トイフナリ常ニカヤ殿ト称ス

政初殿

是ヲ陽成院ノ別殿トイフナリ

桂芳坊

翔平門ノ内ノ東ニアリ

蘭林坊

翔平門ノ内ノ西ニアリ

樂所

桂芳坊ニアリ毎月習物ヲシルニテ養園ス或ハ絃アリ

内膳司

宜秋門ノ内北方ニアリ

贄殿

内膳ノ内ニアリ大宰并諸國ヨリ献スル所ノ贄此所ニテサセナリ

采女町

内膳司ノ東ニアリ

絲所

采女町ノ北ニアリ縫殿ノ別町ナリ樂玉ナト此所ヨリ献ス

畫所

或乾門ノ内東ノ腋本ニ腋歟有一説建春門ノ内ニアリト云々

國史所

宜旨ニヨリテ臨時ニ所ヲサタムルナリ

女^ニ堅^ニ所

桂芳坊ニアリ

中重諸門

中和門

中院ノ南門ナリ

建禮門

丑間戸三間は南面ノ僻伏ノ中門トイフ白馬陣是ナリ射
禮相楪ナト此門ニテ行フナリ又上右ハ由奉幣此門ニテ
行ハレニ也

春花門

尤ノ相僻伏門トイフ建礼門ノ東ニアリ尤馬陣是ナリ

脩明門

右ノ相僻伏門トイフ建礼門ノ西ノ方ナリ右馬陣是ナリ

已上三ノ門ハ中隔ノ南方ノ門ナリ

翔平門

三間は宮ノ北面ノ僻伏ノ中門トイフ綾殿陣是也

或乾門

西ノ相僻伏門トイフ翔平門ノ西ニアリ或乾此門僻伏トイフ

建春門

三間は宮ノ東ノ僻伏ノ中門トイフ又外記門トイフ尤

衛門ノ障是也

宜秋門

三間是ヲ西面ノ中門トイフ右衛門ノ障是ナリ

右七ノ門ハ中重ノ四方ノ門ナリ南ニ三門北ニ二門東西ヲ

ノ一門ナリ皆兵衛ノ守ル門ナリ此七門ノ内ヲ中ノ重ト

号ス右ニ注ス所ハ皆中重ノ殿坊以下ナリ此七門

外官門ノ内ヲ外衛ト稱ス外衛ノ殿門等ハ又尤ニ

此侍ルナリ

神祇官

郁芳門ノ南ノ掖アリ大宮ノ西冷泉ノ北ナリ神祇官ニハハ

神殿アリ天神地祇ヲ常典ニヨリテニシテ祈年

月次ナト祭ヒ百官此所ニテツテ行ス事也此外

社奉幣使ナト七皆此官ヨリ發遣企ナリ伯副祐史以

下是ヨリ凡天下ノ神社事ニテモ此所ニテ沙汰スルナリ

百余年以前ニテハカクハカリモヨリテ奉幣使ナトノ

事行ヒ侍リシガ其後アトナリナリ侍ニナリ但ハ神殿ハ

吉田ニウツニ奉リテ侍ルナリ今ノ袂ニ云神祇官ニ人主ノヲ

モニスル所臣下ノ尊フ所福祥ヲイソリ永貞ヲ來ル神

祇ノ徳ニ、飯也ナル所ナシト云々、己ニヨリテ、洪海公令ヲ選セ
テ、レシニモ神祇官ヲ以テ諸官ノ上ニヲカレ侍ルナリ

大政官

都芳門ノ大略ノ北、羨福門ノ西、大炊御門ノ北、壬生ノ西也
大政官ト朝家ノ政ヲ成敗スルナリ、八省ヲヨヒ百官
大小ノ事皆刑ヲ決スルモノナリ、大臣納言參議并少
納言外記史皆大政官ノ被官トシテ政務ヲ沙汰
スルモノナリ、令ノ釋云、太政官ハ社稷ノ鎮守國家ノ
管轄ナリ、主命ヲ奉テ号令ヲ施シ、斯儀ヲシルソケテ

賢良ヲス、ノ百官ノ法則タル所、万民ノ瞻仰タル所ナリ

故ニ儀ノ後ニ次シ、八省ノ前ニ居所ナリト云々

八省院之殿門諸堂

大極殿

九間、四面朝堂院ノ正殿、八省院トイフ是ナリ、又中
臺ノ宸大殿トイフ、鴛鴦ノ尾ヲフキ、金瑤玉礎ナリ
八省院ト天子臨朝即位、又大掌會朝賀、常會以
下ノ公事奉幣御齋會、李御讀經ナトモ此所ニテ
行ハレナリ

小安殿

七間三面大極殿ノ北ニアリ

昌福堂

七間大極殿ノ東ノ方北ヨリ第一ノ堂ナリ龍尾道ノ南ニアクル

含章堂

九間昌福堂ノ南ニアリ北ヨリ第二ノ堂ナリ

兼光堂

九間含章堂ノ南ニアリ北ヨリ第三ノ堂ナリ

明礼堂

十五間兼光堂ノ南北ヨリ第四ノ堂ナリ

延休堂

七間大極殿ノ西方北ヨリ第一ノ堂ナリ龍尾道ノ南ニアクル

含嘉堂

九間延休堂ノ南ニアリ北ヨリ第二ノ堂ナリ

顯章堂

九間含嘉堂ノ南ニアリ北ヨリ第三ノ堂ナリ

延祿堂

十五回顯章堂ノ南北茅四

永寧堂

七間是ヲ次ノ東ノ堂トイフ延祿堂ノ東ニ有外西ノ堂也

暉章堂

七間是ヲ次ノ東ノ堂トイフ修政堂ノ東ニ有外西ノ堂ナリ

康樂堂

七間是ヲ南面ノ堂トイフ暉章堂ノ南ニアリ外西ノ堂ナリ

朝集堂

九間應天門ノ内會昌門ノ外東西ニニウアリ

各九間ノ堂是東面ノ堂トイフナリ

己上八省院ノ十二堂トイフ弘仁勅文ニ在所ナリ

蒼龍樓

八間是ヲ龍尾堂ノ東ノ樓トイフ樓ノ上ニ小閣アリ

白虎樓

栖鳳樓

方四間是ヲ應天門ノ外ノ東ノ樓トイフナリ

翔鸞樓

方四間是ヲ應天門ノ西ノ楹トイフナリ

已上八省院ノ四楹ナリ

應天門

五間戸三間二閣是ヲ八省ノ朝堂院ノ南面ノ外ノ

門トイフナリ

洛都宮城ノ門ヲ應天門トイフコトハ政道天ニ應スルナリ

モヨコニモ夫子應門トテ群臣ト事ヲ変スルノ朝應門ノ

内ニアリ故ニ應門ヲ以テ朝門トスルナリ

長樂門

左ノ廂門トイフ應天門ノ東ノ朝集堂ノ南ニアリ

永嘉門

右ノ廂門トイフ應天門ノ西面ノ朝集堂ノ南ニアリ

已上三ノ門ハ八省院ノ南方ノ門ナリ

昭慶門

五間戸三間是ヲ北面ノ外ノ門トイフ

嘉喜門

東ノ廂門トイフ昭慶門ノ東ニアリ

永福門

西ノ廂門トイフ昭慶門ノ西ニアリ

已上三ノ門ハ北ノカタノ門ナリ

宣政門

五間戸三間是ヲ東面ノ外ノ門トイフ

通陽門

尤ノ廂門トイフ宣政門ノ北ニアリ

盛化門

右ノ廂門トイフ宣政門ノ南ニアリ

已上三ノ門ハ東ノ方ノ門ナリ

章善門

五間戸三間是ヲ西面ノ外ノ門トイフ

敬法門

尤ノ廂門トイフ章善門ノ南ニアリ

顯親門

右ノ廂門トイフ章善門ノ北ニアリ

已上三ノ門ハ西ノ方ノ門ナリ

含輝門

是ヲ章徳門ノ外ノ東ノ門トイフ

章義門

是ヲ興禮門ノ外ノ西ノ門トイフ

己上ニノ門ハ東西ノ外ノ門ナリ右ノ東西各三ノ門ノ外也

會昌門

五間戸三間ニ因是ヲ南面ノ内ノ門トイフナリ

章德門

九ノ廂門トイフ會昌門ノ東ニアリ

興禮門

右ノ廂門トイフ會昌門ノ西ニアリ

己上ニノ門ハ南面ノ内ノ門ナリ應天門ノ北ニアタルナリ

宣光門

是ヲ北面ノ東ノ復通廊ノ第一ノ門トイフ

東福門

是ヲ次ノ西第一ノ内ノ門トイフ

壽成門

是ヲ北面ノ西ノ復通廊ノ第一ノ内ノ門トイフ

西華門

是ヲ北面ノ西ノ第一ノ門トイフ

昭訓門

是ヲ宣光門ノ南ノ方ノ東向ノ門トイフ

在。範門

是ヲ壽成門ノ南ノ方ノ西向ノ門トイフ

永陽門

是ヲ昭訓門ノ東面ノ東向ノ門トイフ

廣義門

是ヲ先範門ノ南北ノ通門トイフ

右二十五門八省院ノ諸門ナリ弘仁九年ノ勅文ノ在所也

豊樂院殿門諸堂

豊樂殿

中臺ノ二重ノ殿閣トイフモトノ名乾臨閣トイフニカルニ神泉花

ノ正殿ト同名ナルニヨリテアラタメラル、ナリ豊樂院トハ天子

宴會ノ所ニテ節會射禮競馬相様ナト行ハレ侍ル所位ニ例アリ

顯陽堂

十九間是ヲ殿門ノ前ノ東ノ堂トイフ豊樂殿ノ東ノ方

北ヨリ第一ノ堂也

觀德堂

十九間是ヲ次ノ東ノ堂トイフ顯陽堂ノ南ニアリ

永觀堂

十九間是ヲ閣前ノ西堂トイフ豊樂殿ノ西ノ方北ヨリ第一ノ堂ナリ或本ニ兼觀堂トアリ

明儀堂

十九間是ヲ次ノ西ノ堂トイフ永觀堂ノ南ニアリ

清暑堂

是ヲ不老門ノ内ノ南ノ堂トイフ卯酉ノ堂ナリ大尊會ノ五節此所ニテ行フナリ

東華堂

清暑堂ノ東ニアリ

西華堂

清暑堂ノ西ニアリ

延英堂

九間是ヲ儀鸞門ノ外ノ東ノ堂トイフナリ

招掖堂

九間是ヲ儀鸞門ノ外ノ西ノ堂トイフナリ

己上豊樂院ノ九堂トイフ是ナリ

栖霞樓

五間二間豊樂殿ノ東北ニアリ九方ナリ

霽景樓

五間二閣豊樂殿ノ西北ニアリ右方ナリ

己上豊樂院ノ二樓ナリ

豊樂門

五間戸三間是ヲ南面ノ外ノ大門トイフナリ

礼成門

尤ノ廂門トイフ豊樂門ノ東ニアリ

崇賢門

右ノ廂門トイフ豊樂門ノ西ニアリ

己上三ノ門ハ南ノ方ノ門ナリ

不老門

五間戸三間是ヲ北面ノ外ノ大門トイフナリ

右ノ北ノ方ハ一門ナリ

延明門

三間是ヲ東面ノ外ノ大門トイフナリ

陽祿門

北ノ廂門トイフ延明門ノ北ニアリ

舍利門

南ノ廂門トイフ延明門ノ南ニアリ

己上三ノ門ハ東ノ方ノ門ナリ

万秋門

三間是ヲ西面ノ外ノ大門トイフナリ

吉徳門

北ノ廂門トイフ万秋門ノ北ニアリ

福来門

南ノ廂門トイフ萬秋門ノ南ニアリ

己上三ノ門ハ西方ノ門ナリ

儀鸞門

五間戸三間是ヲ南面ノ外ノ大門トイフナリ

高陽門

左ノ廂門トイフ儀鸞門ノ北ニアリ

嘉樂門

右ノ廂門トイフ儀鸞門ノ西ニアリ

己上三ノ門ハ南ノ方ノ内ノ門ナリ

同明門

是ヲ高陽門ノ南東ノ通門トイフナリ

本ノ、南狄但ニ南方ナル高陽門儀鸞ノ東ニ有ニ管狄



陽德門

是ヲ嘉樂門ノ南西ノ通門トイフナリ

已上用明陽德ノ西門ハ郭門ナリ八省院ノ舍シ輝キ

章義ノ西門ノコトシ

青綺門

是ヲ閤ノ次ノ東北ノ通門トイフ東ノ廊ノ南面ノ中央也

白綺門

是ヲ閤ノ次ノ北ノ通門トイフ西ノ廊ノ南面ノ中央也

逢春門

東ノ廊ノ西面ノ通路ナリ

兼煉門

西ノ廊ノ東面ノ通路ナリ

右豊樂院ノ十九門ナリ

所々諸院諸陣町々

内舍人所

中務省ノ北ノ門ノ東ノ腰ニアリ

内堅所

一本御書所ノ東ニアリ大臣ヲ以テ別岩田抄本ノミ堂トスルナリ厨ハ

大舍人寮ノ南ニアリ

一本御書所

侍従所ノ南ニアリ公卿ヲ以テ別當トス也世間ノ書一本
公家ニ献スルヲ納ラレ所也月奏アリ

大歌所

番書寮ノ東ニアリ上西門ノ内ニアリ

侍従所

外記ノ南ニアリ厨ハ羨福門ノ内ノ東ノ曠ニアリ

東酒殿

外記ノ廳ノ東ニアリ弁ノ別堂當欽アリ幡磨ノ精欽本ノ肩米ヲ納テ

酒ヲ造ル蔵人取ノ良ニシタカヒテ是ヲ近ス尋常一

度ニ九升ヲカキリト以耳糟モマタ石随テ是ヲ献スナリ

已上内中重十トニアル所々ハ其下ニシルニ終ス

諸衛諸職人省諸司諸寮等ハ中重ノ外宮門ノ

内ニ有尤ニ注ス

朱雀院

累代ノ後院十リ或ハ四條ノ後院ト号ス四條ノ北西

坊城ノ東四町

神泉花

天子遊覧ノ所也又祈雨十_レ祈_レ也是ヲ乾臨閣ト
イフ二條南大宮ノ西八町善女龍王常此所ニマ
見_レトイヘリ高野大師祈雨ノ法ヲ奉仕セラレシ時モ龍王
現_レテ雨ヲ降_レ侍_リニトナリ上代ハ公卿ノ別當
有中古以來近衛ノ次將ヲ以テ別當トスル也永
享四年普廣院將軍再興セラレ侍ル由見ヘタリ
嘉祥二年五月神泉苑ニ行幸公卿終日宴樂大
學ノ博士文章博士等諸_ヲ賦ス

真言院

八省院ノ北ニアリ養和元年弘法大師大唐ノ内道場ニ
准_レ申ウケテ建_レルナリ則養和二年正月ヨリ始テ
後七日御修_レ法ヲ行_レ侍ル是國ヲ豊饒ノ法ナリ
仍_テ昔ヨリ豊饒安民ノ年ハ此法ヲウケタ_レワリシ
東寺ノ長者ニ勸賞行_レ侍ルヨシ見ヘタリ此外勸音
供孔_ニ養_レ經ノ御修_レ法ナ_レトモ侍ル事ナリ永享年中
普廣院將軍再興セラレシノ長祿ノ此ニテモ年々
修理ヲ加_テ此院ニテ行_レ侍_リニカ_レ其後大殿_ニ

及ヒテ寛正年中ヨリ紫宸殿ニテ行ヒ侍ル事ニナリ侍ルナリ

勸學院

尤大臣冬詞也副建立ス藤原氏ノ輩ノ學問スル所ナリ

長者宣ニヨリテ氏ノ年ヲ以テ別當トス又五位有

宮ノ別當學頭年奉十トアリ三條ノ北土生ノ西ニアリ

學院

勸學院ノ西ニアリ源氏ノ輩ノ學問スル所也又弁ノ

別當學頭年奉十トアリ在原行平是ヲ申置ト云々

學館院

橋氏ノ輩ノ學問スル所也氏ノ公卿別當ニ補ス然ニ

近代橋氏ノ公卿ナキ故別當沙汰ナシ但氏ノ爵ハ是

定ノ人是ヲ奉ス中古以來九條ノ流是ヲ傳ヘシルナリ

弘文院

勸學院北ニアリ和氣氏ノ諸生ノ別所ナリ和氣ノ清麿

和宅ヲ以テ弘文院ト号シ内外ノ經書数千卷ヲ納置ト云々

穀倉院

畿内諸國銅錢魚主ノ職田没官ノ田十トヲ納テ年中ノ

糧ニモ子工別當以下アリ二條ノ南朱雀院ノ西ニアリ

淳和院

天長上皇、離宮ナリ。今西院或橋大后宮トイフモト淳和院、仙居ナリ。別當ハ、誓學院、別當是ヲ兼帶スル也。

施藥院

藤氏皇明后宮諸國、藥種ヲ申納テ病人ヲ養治ス。則テ使リ辨ナラシニ外記ヲ以テ別當ニ補ス。東五條ニアリ。

悲田院

施藥院、別所ニモ皇明后宮、建置ル者ナリ。同シク孤子病者ヲ養フ所ナリ。尤右ノ京職九ヶ條ニ仰テ都ノ七

口ナラヒニ京中、路邊ノ孤子病者ヲ見遇ニタカヒテ施藥院、悲田院ニヲクリツカハス事也。鴨川ノ西ノ畔ニアリ。

延命院

貞觀年中、右大臣藤原良相是ヲ建立ス。藤氏ノ生病、因者ナラヒニ家業ナキ輩ヲ養フ所也。勸學院、橋所ナリ。

崇親院

是モ同大臣、建ヲ所ナリ。藤氏ノ窮女、居宅ナキモノヲ養フ所也。施藥院、前橋ナリ。東五條ノ京極ニアリ。

療院

諸国、庸祖糸ヲ納置テ么用ニ宛ル所ナリ民部省

将^{カウ}院

大膳、明院ナリ大膳殿ノ面ニアリ

供^カ御^テ院

幾内御、祐ヲ納テ、供御ナラヒニ中宮ノ御飯ニ宛ルナリ

次將ヲ以テ、願トス大炊寮ノ内ニアリ

乳^ニ牛^ゴ院

豊樂院、別所、別當乳師願ナトアリ右近馬場西ニアリ

紙^{カニ}屋^ハ院

尚書、別所ナリ諸ノ紙ヲユミテ置所ナリ野宮ノ東ニアリ

添^ヒ室^ハ

内近ノ別所ナリ上西ノ北ノ腋ニアリ

鷹^カ屋^マ院

紙屋ノ北ニアリ

已上諸院カクノコトニ中和院ハ中堂ノ内ニシルス八省院

豊樂院、外衛ノ内ニアリヨテ更ニ諸院ノ内ニセサル所ナリ

鳴^ナ臚^ラ館

七條朱萑ニアリ昔百濟國ヨリ來朝セシ僧尼ナト此館ニ

凡也。臚ハ腹ノ前。鳴ノ鳴トキ声ヲ去ス処ナリ。故ニ鴻臚ハ声ヲ
傳ルトイフ心ナリ。異國ノ輩來朝ノ時。通事シテ兩國ノ志ヲ傳ル
トイフ都ウツシノ時。東西ノ大宮ニ此館ヲ置。弘仁年中。東ノ
館ヲ東寺トシテ。弘法大師ニ給ル。是モロコシノ不宮三藏ニ鴻
臚ヲ給リ例ト云々。西ノ館ハ後因僧都ニ給リシトナリ。

園池

内膳別所一條火割ニアリ

藥園

典藥寮別所

茶園

主殿寮ノ東ニアリ

裏松原

宜秋門ノ北掃部寮ノ西。近衛ノ南。朱雀ノ西。天平年中。松
原宮ニ行幸カリテ。曲水ノ裏アリ。是ヨリイフ欽

諸陣

尤右近衛兵衛衛門馬白馬縫殿枇杷等陣。皆右
ト云口ノニシルニ終ヌ

神祇官之町

春日ノ南堀川ノ西ニアリ

宮チヂメ厨家ケ

中衛門木ノ御欽比堀川ノ西

外記ノ町

中御門ノ北大宮ノ西

大舎人ノ町

鷹司ノ北菰負ノ東

内藏一町

近衛南堀川ノ西

後殿一町

正親町ノ北西洞院ノ西

織部一町

鷹司ノ北猪隈ノ西

木工ノ町

二條ノ南大宮ノ東

正親ノ町

正親町ノ北西洞院ノ東

内膳ノ町

玉御門、北鳥丸、西

大寺寮、二町

二條、南三條坊門、北

采女町

土御門、北東洞院、西

帶刀町

一條、南堀川、東

元京町

姉小路、北坊城、西

東宮町

中御門、南大宮、東

修理職領、一町

近衛南大宮、東

修理職領、二町

近衛南西洞院、東

左近衛、四町

斗衛門本々、御秋、南西洞院、西

左衛門府

鷹司、南大宮、東

右衛門府ノ西町

土衛門本三、即秋ノ南西洞院ノ東

左兵衛ノ町

近衛ノ南堀川ノ東

使廳

近衛、北堀川ノ西

左サ獄ツリ

近衛ノ南西洞院ノ西

内ナ豎ジ町チ、南大宮、北堀川ノ西

鷹司ノ北堀川ノ西

内教坊ノ町

土御門ノ北堀川ノ西

女官ノ町

土御門ノ北堀川ノ東

真言院ノ町

春日ノ南堀川ノ西

後院ノ西町

五條坊門ノ南大宮東

春日同四町

三條直南大宮ノ西

上東寺西町ノ東

唐橋ノ南大宮ノ西

東ノ市屋ノ西

七條坊門ノ南猪隈ノ東

市領十一町西

内町三町六七條ノ坊門ノ南大宮東外町八町八九社ノ

南坂川ノ西

己上宮城ノ内ノ町々カクノ

宮城門

陽明門

五間戸三間東面北ヨリ第一ノ門ナリ近衛ノ御門ト号ス

待賢門

五間戸三間陽明門ノ南ニアリ中ノ御門ト号ス

郁芳門

五間戸三間待賢門ノ南ニアリ大炊衛門ト号ス

本ノ御款

己上三ノ門ハ東向ノ門ナリ、東ノ大宮、大路弘サ十二丈ナリ
養福門

五間戸三間ニ図、南向、東ヨリ第一ノ門ナリ、壬生ノ御門ト
号ス、延暦年中二十ニ門ヲ作ル、時此ノ門ハ壬生氏コレヲ造
ルニヨリテ壬生ノ御門ト号スルナリ

朱雀門

七間戸五間ニ図ナリ、重閣ノ御門ト号ス、養福門ノ東
南面、中央ノ門ナリ、長安ノ南面皇城門ノ致ニ朱雀門トイフ
大明宮ノ南面ニ五門アリ、正面ヲ丹鳳門トイフ、朱雀ト其

皇嘉門

五間戸三間ニ閣ナリ、朱雀門ト西ニアリ、欽司ノ御門ト号ス
己上三ノ門ハ南面ノ門ナリ、南ニ條ノ大路弘サ十七丈也

訖天門

五間戸三間、西面、南ヨリ第一ノ門也、馬司ノ御門ト号ス
藻壁門

五間戸三間、訖天門ノ北ニアリ、西中ノ御門ト号ス
殿富門

五間戸三間、藻壁門ノ北ニナリ、西近衛ノ門ト号ス

已上三ノ門ハ西面ノ門也西ハ西ノ大宮ノ大路弘サ拾ニ丈ナリ
安嘉門

五間戸三間北西第一ノ門也兵庫司ノ御門ト号ス

偉鑿門

五間戸三間安嘉門ノ東ニアリ不開ノ御門ト号ス或説

花山院御出家時此門ヨリ出ニシテ又其後此門ヲ開サレカト

云大嘗會ノ各場所偉鑿門ヲサリテ北八十二丈ヲ點スト見ヘリ

達智門

五間戸三間偉鑿門ノ東ニアリ多矢井門ト号ス

已上三ノ門ハ北面ノ門也北ハ一條ノ大路弘サ十丈

右十二ノ門ハ宮門トイフナリ

上東門

陽明門ノ北ニアリ是モ東面ノ門ナリ土御門ト号ス又

或書ニ東會廂門トイフナリ

上西門

殿富門ノ北ニアリ西面ノ門也西土御門ト号ス又西會廂

門トイフ

右ニテ門ハ十二ノ門ノ外宮門ナリ已上十西宮城門ハ

皆衛門ノモス門ナリ衛門ノモスル所是ヲ宮門トイヒ兵
衛ノ寺ル所是ヲ宮門トイフナリ凡宮城ノ門ハ衛士ヲシテ
寺ラシムナリ養福郁芳待賢陽明上東達智等ノ門ハ
九衛門府是ヲ寺ル皇嘉談天藻壁殿冒上西安
嘉等ノ門ハ右衛門府是ヲ寺ル但朱雀門ハ左右相共
是ヲ寺ル偉峯門ハ左右年ヲ隔テタカヒニ是ヲ寺ル者也
右ニシル所ノ殿坊以下ハ皆宮門内ナリ此外諸司
諸寮等事ニケキニヨリテ畧ニテセヌ又宮門外凡
條ノ内ノ名所也尊寺桃園殊殿枇杷殿高陽院河

原ノ院ナトノ類アマタアリトイヒ宮ノ外ハ猶以テ畧ニテ
ニルナル者

羅城門

七間戸五間ニ閣朱雀大路ノ南面大門ナリ南面大
門ナリ南面九條ナリ朱雀門ノ南ニアタレリ朱雀大路ノ弘サ
北八丈也羅城門ヲ玄武門ト号スル羅城門ハ周ノ國門唐ノ
京城門ノ義ナリ
一 殿門之類
嵯峨天皇御宇弘仁年中諸門ノ類懸南面養福朱

重字如字本

崔皇嘉、三門、弘法大師是書北面。安嘉倅、鑿達智、
三門、八幡、逸勢是書東面。陽明待賢、郁芳、三門、峴、
天皇書之。給、西面。終天藻壁、殿、富、三門、小野、義村
是書之。又、大極殿、敏行中將是書。此外、紫宸仁
壽、兼香、常寧、貞觀、安福、清涼、弘徽、登華、春興、且陽
綾綺、藤景、宜耀、飛香、凝華、襲芳、昭陽、泚景、等、殿、
以下、諸門、ニイタルニテ、額ヲ懸ナリ、本工頭、道風、右、大弁
佐理、大納言、行成、中納言、定賴、中納言、公純、大和
守、兼行、入道、尤、府、俊、房、中納言、朝隆、宮内、少輔、伊

行十、弘仁、以來、相續、テ、内裏、額書、人々、近クハ、後白河院、
御宇、内裏、作ラセ、給ニ、時、殿々、門々、額、法性寺、用、白
書シ、侍心者也

里内

紫宸殿 東西七間 南北五間

母屋 御帳アリ 御侍子ヲ立前ニ 師子柏大アリ

御後 北ノ廂ヲイフ 東ノ廂 西ノ廂 御膳者トイフ

北ノ障子ヲ賢聖障子トイフ 賢聖畫ニ色紙カタアリ 能書
人賢聖ノ銘ヲカリ 昔ハ八木文トテ 彼等ノ藝能ヲロケリ

又中央間唐花畫御帳間戸師子狛犬ヲ書クト書ク
負^フ筆^ヲカク木^ノ文^ノ心^ト云^{ヘリ}

櫻木之事

取初ハ梅ト見ヘリ仁明天皇^兼和年中ニカレタルヨリテ
櫻木^ニアラタメラル^者也此櫻貞觀比カレ侍リテワツカニ
萌^クシラ坂上瀧守^ニ仰テ守ラセ給ヒニ枝葉盛ナリ
ト云^ク天徳年中内裏焼亡ノ後造内裏時重明ノ親
王ノ家櫻ヲウツシ置ラル件ノ木モト吉野山ノ櫻トイヘリ
其後造内裏或ハ臨時ニモナレ侍ル時ハ九大将ウヘ

進ル事ナリ又代々ニ聞ヘシ花ノ裏モ皆此櫻ノ事ナリ

橘木之事

件^ノ橘木ハ延暦都ウツシ以前ノ人家橘ナリ一説橘ノ
木^五如^木本大夫宅トイヘリ此木枝條アラタメス天徳ノ焼亡ニテアリ
シト云^ク此モカレヌル時ハ右大将ウヘ進スル事ナリ

清凉殿

五間中^ノ間御帳左右ニ師子狛犬アリ

畫御座

御帳

四面ニ几帳アリ西柱、角ニ鏡ニ演床常ノコトニ

平敷

纒細疊ニ帖南中央ニ茵一枚御劔御座、南、端ニ有御

硯苜御座、南、板ニアリ筆臺龜形、水入等有三尺、几

帳ハ御座ノ北、方ニコレヲ立ルナリ

大床子三脚

晞息一變繪御厨子二脚

日記御厨子二脚

昔御日記ヲ入ラレシトナリ

置物御厨子二脚

玄上中 鈴床下

笛筥藤海部小水籠

又笛二 拍子曲字本師在四

朝鈎二間南ノ間ナリ

平敷二枚

東北ニ屏風ヲ立ル箱屏風也

二階一脚押錦

唐ノ匣筥一

硯筥

螺鈿厨子二脚

近代鑿繪ト云ク

御冠筥二

唾壺

手杖筥

熨火筥

儿帳一

大床子一脚

火櫃

秋夏コシラ撤ス

反灰壇

南第一間東面

四季ノ御屏風

障子

唐繪本文ナリ

燈檮

鬼間

二間格子十リ昔八南壁ニ白澤王鬼ヲキ繪アリ

北ノ障子際ニ掃取ニアリ

御厨子 御膳ノ具ヲ置

二間

畳二帖ヲニキテ阿闍梨ノ座トス二間トハ御持僧トテ

フク御殿ニ侍リテ加持ニ夕テナリ十リ毎日三壇ノ

御修法アリ東寺ノ長者ヲハシノトシテ六七人モ

御持僧ニ定ル事ナリ東寺也長者ヲホグハ夜居ニ俵
是以ニ間ノ夜居ト号スルナリ

夜御殿

四方ニ妻戸アリ南ハ大妻戸一間ナリ御帳畫御座ニ同

ニ東枕

ニ階厨子

御枕ノカクニアリ

釵壘ヲ案置ニ奉ナリ覆衣アリ菴芳御釵ハ東南ニアリ

燈楼

御帳ノ四ノ角ニアリ

江記云夜御殿ノ火消スヘカラス是釵壘ノ御タノ也ト云

臺盤所

三間北ノ間

御倚子

女房簡

袋ニ入

卒櫛

朱漆本々、漆欵

膳棚

ニ階臺盤ノカミニアリ

火櫛

圍碁彈碁

厨割一脚

黒漆菓子ヲ置

馬秋障子

御手水間

一間

量物厨子

大床子

内座アリ

允主上御座西ニ向ヘカラサル由江記ニアリ御手水北ニ

向ヘキナリト云ク

上御局

藤壺ノ上ノ御局ト号ス

后女御十奉^{カミ}上ノ取ナリ

萩戸

常ノ御所ナリ

上御局

弘徽殿ノ上ノ御局ト号ス

是モ女御更衣十奉^{カミ}上ノ所ト見ヘタリ

強^ニ箱

北ニ荒海障子アリニ間ト上ノ御局ノ間ニ昆明池ノ障子

アリ南ノ坊妻ニ鳴板アリウナツケサル板ナリ是ヲ見奉^{カミ}

板トイフナリ

殿上

六間春冬垂幕アリ天鈎幕アリ夕陽ハ時ハ幕ヲ下ス

上戸

小幕アリ主上殿上ヲ覧スル取ナリ

年中行事ノ障子

此障子ニハ年中ノ公事政ヲ書命侍ルナリ東方ニ正月

ヨリ六月ニテ西方ニ七月ヨリ十二月ニテヲ書ナリ仁和

元年三月廿五日ニ昭宣公光孝天皇ニ献ス是ヨリ

初テ禁中ニ此障子ヲ立ルルノ由小野宮ノ記ニ見ヘ

タリ掃用ノ家ニ立ルニハ私ノ行事ヲモ書加ヘ

侍ルナリ

御倚子 覆アリ

養杖 上ノ戸ノ邊ニアリ

和琴 北ノ長押ニアリ

臺盤三脚 切臺盤ハ大臣ノ料ナリ

火櫃ニ 四月ヨリ十月ニイタリテ是ヲ撤ス

圍碁碁盤 近代冬是ヲ置ス

筒 月拾ノ筒ナリ袋アリ

朱辛櫃

硯 横敷ノ前ニアリ尾硯ナリ

相角柱ニ藁芳ノ網ヲツケテ鈴ヲカクル小舎人ヲ召時藏

人はヲ引ナリ二條院ノ御時ヨリノ事ナリ始ハ馬寮指

繩ヲ用ルヨシ見ヘタリ

解間小坂敷ノ西ニアリ

小庭魚名門ノ内ヲイフナリ

時筒小庭ニアリ

膳棚同

燈楼同

下侍三間

四面疊ヲ敷侍臣乱遊ノ所ナリ或又酒宴等此取

ニライテ行フ

渡殿

北ニ高欄ニソヒテ布ヲ子ニ間アリ又馬形障子アリ波祢馬ト号ス

春興殿

五間二面日華門ノ北ニアリ内侍所此殿ニシテスナリ

宜陽殿

床子座

障座

腋障

孔蒼門

三間二面月華門ノ北ニアリ

宜陽殿ノ西ニアリ

三間二面

床子座ノ南ニアリ

二間障座ノ北ニアリ

軒廊

三間紫宸殿ノ西ノ廊ナリ

小御所

五間四面清凉殿ノ東ニアリ

進物所

四間二面小御所ノ乾ニアリ

黒戸

清凉殿ノ北東ニアリ

記録所

四間二面南殿ノ乾ナリ記銃所トハ諸人ノ雜訶ヲ判断ス所也後三條院ノ時コトニ興行アリテ寄人ナト選ヒ置レシトナリ

御輿宿

月華門ノ南西ニアリ

装束使ノ部屋

御輿宿ノ南ニアリ

宣仁門代

陣座宜陽殿西ノ間ニアリ

無名門代

殿上ノ前ニアリ當時此門ヲ弓場殿代ト号ス

神仙門代

殿上ノ小庭ノ西ニアリ

日華門

春興殿ノ南ニアリ

月華門

宜陽殿ノ南ニアリ

九衛門陣

當時西ノ四足ノ門ヲ九衛門ノ陣用ユ

右衛門陣

東ノ四足ヲ右衛門ノ陣用ユ

兼明門代

南ノ門ナリ

右ノ里内殿門ノ目錄ハ土御門ノ内裏ノ繪巻

ヲ以テ横書スル者十リ凡近代造内裏ノ事後
深尊院ノ御宇建長三年將軍賴朝執權陸奥守
重明極樂寺
ト号ス相摸守時頼寂明寺
ト号ス十ト沙汰トシテ
造ラレシハ雨院ノ内裏十リ花園院ノ御宇文保
元年將軍守部親親王執權相摸守高時造營セラレ
シハ畠小路ノ内裏十リ後光嚴院ノ御宇貞治
五年空篁院將軍後小玄院ノ御宇應永九年鹿
苑院ノ准后等作り進ラレシハ土御門ノ内裏
十リ右文保建長以前ハ當時ハ内裏ニ聊カハレ

ル事トモアルヘシ貞治應永以來ハ九當時ノ
内裏ニカハル事十キ歟仍テ貞治應永ノ繪巻
ヲ以テシルニ侍ル者也

有職抄卷第一終

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 有職抄卷第一終 and other illegible text.

卷